

こんじゅう かい ほう  
今週のことば「角字放」

せいしょ ふくいんしょ  
《聖書》ルカによる福音書

1:1-4, 4:14-21

ふく いん しょ  
ルカによる福音書

ことし しゅじつ ふくいん ひょうごく  
今年の主日の福音の朗読は、ルカによ  
ふくいんしょ ちゅうしん  
る福音書が中心になっています。ルカに  
ふくいんしょ とお よ とく  
よる福音書を通して読んでみると、特に  
まぎ ひとびと あっぱく  
イエスが貧しい人々や、圧迫されている  
ひとびと かんしん も つよ しめ  
人々に关心を持っていたことが強く示さ  
れています。

ふくいんしょ お でき こと  
ルカによる福音書は、起こった出来事  
じかん けいか したが はいれつ  
を時間の経過に従って配列しています。  
きゅうやく とき おわ じせい  
旧約の時が終って、イエスの時代があり、  
ご せいいい はたら じだい きょうかい  
その後、聖霊の働きの時代である教会の  
とき かんしん  
時があります。ここでの关心は、やはり  
きょうかい とき せいいい きょうかい なか  
教会の時であり、いかに聖霊が教会の中  
はたら つた  
で働いているかを伝えたかったのです。  
ふくいんしょ

このことはルカによる福音書でなく、  
しと げんこうろく あら  
使徒言行録に表わされています。マルコ  
ふくいんしょ い  
による福音書では、ガリラヤで生きたイ  
ちゅうしん えが  
エスが中心に描かれていますが、これで  
きょうかい とき み きょうかい じだい  
は教会の時が見えません。教会の時代を  
えが いと ふくいんしょ わくぐ  
描くことを意図して、福音書という枠組  
しと げんこうろく  
みからはずれて、使徒言行録とあわせて

いっさつ ほん か  
一冊の本として書かれたのです。

えが きょうかい こんきゅう  
ここで描かれている教会は、困窮のど  
そこ なやさ もと ます きょう  
ん底にあって慰めを求めている貧しい教  
かい ふくいんしょ ます  
会なのです。ルカによる福音書が貧しい  
もの かんしん しめ り ゆう  
者に关心を示していた理由がここにあり  
ます。

かい ほう  
角字放

ふくいんしょ かいはう  
ルカによる福音書では、さらに解放が  
つ かいはう  
告げられています。解放とはそもそも  
いみ あら  
のような意味を表わしているのでしょうか  
たん つみ かいはう せいしんてき  
か。ただ単に罪からの解放という精神的  
いみ つか あき  
な意味で使われていないことは明らかで  
にんげん ほじょう  
す。人間として保障されているはずのこ  
そ かいふく  
とが損なわれているので、それを回復す  
かいはう  
ることが解放なのです。

はってんとじゅうこく よ くに ひとびと  
発展途上国と呼ばれている国の人々が、  
せんしんこく よ くに ひとびと おな  
先進国と呼ばれている国の人々と同じよ  
せいかつ かいはう  
うな生活ができるようになることが解放  
せんしんこく よ  
ではないのです。むしろ、先進国と呼ば  
くに ひとびと さくしゅ かんしょう  
れている国の人々から搾取されず、干渉  
じぶん せいかつ てき ぶんか  
されずに、自分たちの生活に適した文化  
づく かいはう うだ  
を作りあげていくことで解放を生み出し  
ていくのです。

ねんかんだい しゅじつ ねん たきの  
年間第3主日C年（滝野）